

# 小さい林業 絵目次

小さい林業とは、山の手入れを人任せにせず、自分で何でもやる林業のこと。自分で切った木を薪にして売ったり、木の駅に出したり、造材の技を磨いたり、製材して売ったりして工夫を重ねる、自立した林業。

人件費を外に払うと、残る木材費はたった100円/m<sup>3</sup>。自分で切って搬出すれば3100円/m<sup>3</sup>残る(34ページ)

森林組合や  
林業事業者に任せる

自分で切る(自伐)

(37ページ)

かんぼう  
間伐する

(78、88ページ)

そうざい  
造材する

やり方しだいで  
1日3万円になる  
(96ページ)

搬出する

(113ページ)



山のめぐみ売る

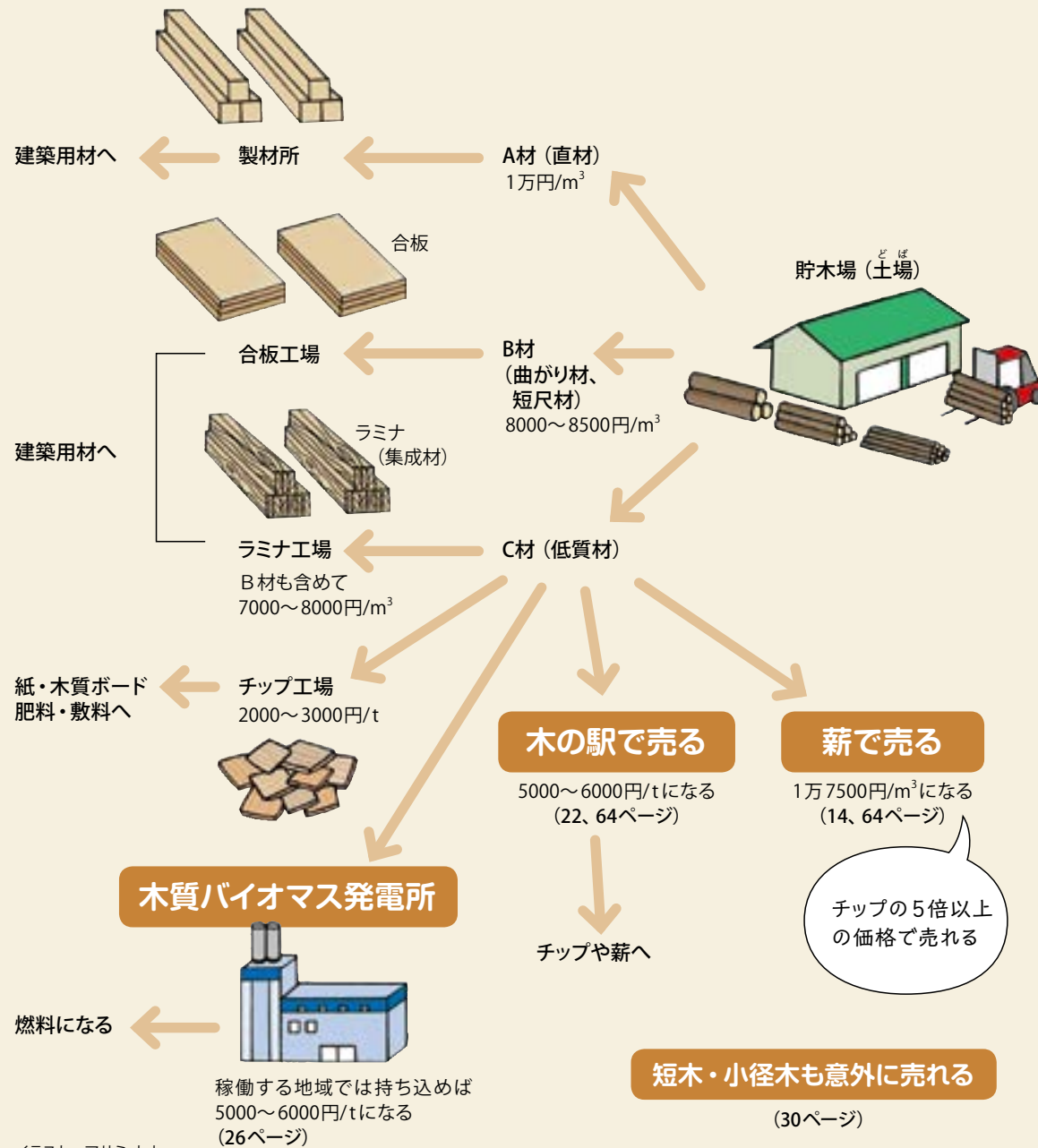
(33、36ページ)

境界を確定する

(66ページ)

機械の購入・山の管理に  
交付金を使う

(108ページ)



おっす。俺、チエン太郎。金太郎の子孫。山で暮らしてんだけど、うちの山は森林組合に任せてきた。人任せにしない林業を「自伐林業」っていうんだろ？ ご先祖様みたいにマサカリ一本で山仕事しなくても、今どきはチェンソーって便利な機械があるもんな。俺もチェンソーを上手に使えるようになって、間伐とか薪作りとかに挑戦してみたいんだ！

自分で切れば意外とお金になっちゃうっていうし、そんな「小さい林業」のこと、みんなにゼロから教えてもらおうって。

チエン太郎



くまごろう

イラスト=アサミナオ